

# TOKYO MAIL NEWS



輸送サービス労組 東京地本

JTSU-E TOKYO

2021.9.25  
No.048



東地申第4号 9月24日開催

その1

「京葉線・武蔵野線の乗務員基地再編について」

に関する申し入れ（その1） 団体交渉を行う！

1. 丸の内車掌区、東京電車区が担当している京葉線・武蔵野線業務を京葉運輸区(仮称)に移管し、丸の内車掌区を廃止する本施策の目的を明らかにすること。

(回答) 安全・安定輸送のさらなるレベルアップを図るとともに、効率的な業務執行体制の実現を目的としている。

## 輸送サービス労組

## 会社

- ◆京葉運輸区(仮称)の設置の目的は何か。
- ◆丸の内車掌区と東京電車区では武蔵野線の乗務範囲が異なるが、会社は乗務範囲をどう考えているのか。
- ◆基地再編の予算等を明らかにすること。また、赤字決算の中、社員の生活よりも施策を進めることに職場では疑問の声が上がっているが、延期等はしないのか。
- ◆サピアタワーではなく、他のスペースの活用は検討しなかったのか。

- ◆回答の他、2018年に示した「今後の乗務員基地について」に基づき、効率的な業務執行体制、職場の活性化、企画・計画業務、輸送サービスに従事する社員にふさわしいオフィスとして京葉運輸区(仮称)を設置する。
- ◆京葉運輸区(仮称)の発足が2023年度であり、現段階決まっていない。
- ◆予算等は教えられない。コロナ禍ではあるが、その先を見据え、安全・安定輸送のさらなるレベルアップを図るため、基地再編の計画に変更はない。
- ◆東京都との調整や消防法なども勘案し、サピアタワーが最適な場所として判断した。

2. 業務移管後の京葉運輸区(仮称)、および京葉運輸区(仮称)発足後の東京電車区の安全・サービスのさらなるレベルアップをどのように図るのか明らかにすること。また「効率的な業務執行体制の実現」とはどのようなことを意味するのか具体的に明らかにすること。

(回答) 京葉運輸区(仮称)は、運転士業務と車掌業務を行う職場として新設することで、効率的な業務執行体制を構築し、安全・安定輸送のさらなるレベルアップを図っていく考えである。

## 輸送サービス労組

## 会社

- ◆安全・安定輸送のさらなるレベルアップとは具体的には何か。
- ◆効率的な業務執行体制とは何か。
- ◆相互運用は実施するのか。

- ◆運転士・車掌が一つの職場になり、合同訓練等を通じて安全・安定輸送のさらなるレベルアップが期待できる。
- ◆京葉線・武蔵野線の輸送体系を鑑みて東京駅近傍に京葉運輸区(仮称)を設置することで効率的な業務執行体制が出来ると考えている。
- ◆すでに提起しているので具体的に進めていく考えであるが、実施のタイミングは見ていきたい。

3. 他支社における京葉線・武蔵野線業務を担当している乗務員区の基地再編について、進捗状況および、今後の考え方を明らかにすること。

(回答) 「今後の乗務員基地について」(2018年12月)で示したとおりであり、各支社で準備が進められていると聞いている。

## 輸送サービス労組

## 会社

- ◆乗務員基地再編について、現在分かっていることや決まっていることはあるのか。
- ◆「今後の乗務員基地について」に踏まえて、京葉運輸区(仮称)の発足後の東京電車区、および横須賀・総武快速線等の運転士業務の展望を明らかにすること。

- ◆現時点で示せるものはない。決まり次第社員周知をしていく考えである。
- ◆第一ステップとして京葉運輸区(仮称)として示したものであり、今後の乗務員基地再編については、決まり次第早い時期に示していく考えである。

**京葉運輸区(仮称)の設置は「今後の乗務員基地について」に基づいた施策であることを確認！**

# TOKYO MAIL NEWS


 EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION  
 2021.9.25  
 No. 048  
 輸送サービス労組 東京地本  
 JTSU-E TOKYO  



東地申第4号 9月24日開催

その2

「京葉線・武蔵野線の乗務員基地再編について」

に関する申し入れ（その1）団体交渉を行う！

4. 東京電車区のサピアタワー移転に伴う運用改正について、以下の点を明らかにすること。

- (1) 2021年11月23日の運用改正における行路を明らかにすること。また、それぞれの担務の標準数を示すこと。
- (2) 「折り返し時間」の変更に伴う徒歩時分の考え方を明らかにすること。また、東京電車区乗務員の京葉線担当ならびに横須賀・総武快速線担当の際の、それぞれの指定通路、徒歩時分を明らかにすること。さらに、東京駅構内のシャッターが「閉」の場合の指定通路、徒歩時分を明らかにすること。

(回答) 必要な社員周知は行っていく。

## 輸送サービス労組

## 会社

- ◆ 2021年11月23日の運用改正における行路を明らかにすること。
- ◆ それぞれの担務の標準数はどうか。

**変更は「折り返し時間」のみ！ 行路数・枠数・標準数については変更ないことを確認！**

- ◆ 「折り返し時間」の変更に伴い、出退勤時刻がどの程度変更になるのか。

- ◆ この変更は乗務員勤務制度には抵触しないのか。
- ◆ 指定通路を明らかにすること。

- ◆ 折り返し時間は、サピアタワーの12階であることやオフィスビルを使用することから、エレベーター待ちなどの時間を考慮すること。

- ◆ 「折り返し時間」の変更に伴い出退勤時刻の変更は生じるが、行路数・枠数の変更はない。
- ◆ 担務の標準数についても変更はない。

- ◆ 「折り返し時間」の変更に伴い、京葉線乗務では出勤時に12分、退勤時に16分程度増、横須賀・総武快速線等乗務では出勤時・退勤時ともに5分程度減となる。

- ◆ 乗務員勤務制度には抵触しない。
- ◆ 京葉線乗務でも横須賀・総武快速線等乗務でも、サピアタワーを出て、東京駅日本橋口から八重洲北口出札・丸車付近を通るルートとなる。なお、東京駅構内のシャッターが「閉」の場合もルート・徒歩時分ともに同じである。
- ◆ 必要な時間を考慮し、モデル時間を設定している。今後状況を見ながら調整していく考えである。

**折り返し時間については、エレベーター待ちなどを考慮し、余裕を持った時間を確保していくことを確認！**

5. 東京電車区のサピアタワー移転スケジュールを明らかにすること。また、社員個人の荷物の搬出方法を明らかにすると共に、社員自身が搬出する場合は超勤対応とすること。

(回答) 2021年11月23日にサピアタワーに移転する。なお、荷物の搬出方法等については、決まり次第周知していく。

## 輸送サービス労組

## 会社

- ◆ 移転のスケジュールを具体的に示すこと。

- ◆ サピアタワーの工事はいつ終わるのか。

- ◆ 荷物の搬出方法について、現段階で固まっていることは何か。

- ◆ サピアタワーの移転は会社都合であることから、業務であるという認識であるため、荷物の搬出は超勤対応とすること。

- ◆ 社員の私物だけではなく、システムの移動等も発生することから、具体的なスケジュールは調整中である。

- ◆ 具体的にいつ工事が終わるのか分からないため、現段階で伝えられる内容はない。

- ◆ 同じ東京駅構内の移動ではあるが、サピアタワーまで離れているため、業者に手配をするなど検討している段階である。

- ◆ ロッカーの荷物については、会社が個人に便宜を図っているとの考えから、自分の時間になる。なお、個人の荷物の梱包方法などは検討していく考えである。



東地申第4号 9月24日開催

その3

「京葉線・武蔵野線の乗務員基地再編について」

に関する申し入れ（その1）団体交渉を行う！

6. サピアタワー移転後の東京電車区について以下の点を明らかにすること。

- (1) 職場の間内レイアウトおよび設備について明らかにすること。また、そのレイアウト・設備の使用方法等は現場社員の意見を反映して進めること。
- (2) サピアタワー内の寝室数を明らかにすること。また、下記の社員の寝室の場所および、点呼執行箇所ならびにその方法を明らかにすること。
  - ① 京葉線並びに横須賀・総武快速線を担当する東京泊の東京電車区乗務員。
  - ② 居流し・前泊を行う東京電車区乗務員。
  - ③ 東京電車区の当直助役。
  - ④ 東京電車区の指導担当・当務主務等、業務の必要に応じて宿泊する社員。
  - ⑤ 現行、東京電車区の寝室を使用している東京泊の他区乗務員。
  - ⑥ 京葉線・東京泊の丸の内車掌区乗務員。
- (3) 現行の東京電車区（東京駅京葉線地下3階）の設備の活用方法を明らかにすること。
- (4) サピアタワー移転にあたっては、防災訓練を実施し、意識向上を図ること。また、大地震等の災害発生時に備え、非常用品の備蓄を行うと共に、避難ルート・避難場所等の見える化を図り、定例的に訓練を実施すること。

*（回答） 必要な設備の整備・訓練・社員周知は実施していく考えである。なお、東京電車区エリアを間内改修し、京葉運輸区（仮称）を設置する。*

輸送サービス労組	会社
(1) ◆レイアウト等、具体的に示せるものはあるのか。 ◆京葉運輸区（仮称）の PT はあるが、サピアタワー移転の PT はない。現場の意見を聞かないのか。	◆現段階示せるものはない。 ◆レイアウトの意見等については職場内でコミュニケーションを取ってほしい。
(2) ◆サピアタワー内の寝室数、寝室の場所および、点呼執行箇所ならびにその方法を明らかにすること。 ◆サピアタワー以外の寝室を使うならば、点呼のための移動で時間が割かれることが予想される。	◆寝室数は検討中である。寝室の場所、点呼の方法等についても現在調整中である。 ◆無駄な行き来はさせたくない思いはある。なるべく乗務員の負担にならないようにしたい。
(3) ◆喫煙所を気にする声が多い。  ◆京葉線乗務時の東京電車区運転士の詰所はどこになるのか。	◆喫煙所は京葉線担当乗務員が使用する喫煙所の設置を検討している。 ◆現行の京葉線他区乗務員詰所と東京電車区新会議室の使用を検討している。冷蔵庫や電子レンジも必要数は用意する考えである。
(4) ◆国や都の指針に基づき3日間の食料の備蓄や避難訓練を実施すること。	◆必要な訓練は実施していく。災害備蓄品は置けるスペースは確保していく。

7. 丸の内車掌区、東京電車区の全社員に、本施策実施に向けた社員説明会を行うこと。

*（回答） 必要な社員周知は行っていく。*

輸送サービス労組	会社
◆東京電車区では9月27日から説明会が行われるが、どういう内容になるのか。 ◆京葉運輸区（仮称）の設置は丸の内車掌区も関係しているの、説明会を行うこと。 ◆東京電車区全社員を対象に、サピアタワーの内覧会と指定通路の実踏を行うこと。	◆決まっていることを周知していく内容となる。  ◆考えているが、サピアタワー移転は東京電車区のみが対象なので、内容は限られる。 ◆しかるべきタイミングで、できるのであれば行ってきたい。

**サピアタワー移転後は検証行動を行い、働きがいを実感できる京葉運輸区（仮称）をつくり出そう！**